

# 新たな年に

小野町議会議長 村上 昭正



あけましておめでとうございませう。町民の皆さまにおかれましてはご家族とともに輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年も我々の議会活動に深いご理解とご協力をいただき、議会傍聴、議会懇談会、さらには意見交換会などご参加を賜り厚く御礼を申し上げます。 時の流れは速いもので、平成になり30年が過ぎ東日本大震災、原発事故からも8年が経とうとしております。双葉地方の方々は未だ5万人近い方が故郷を離

れて避難生活を余儀なくされております。県内全体においてもまだまだ全面的な復興に至っておらず、さらなる風評被害対策、風化防止対策などの強化が必要ではないかと考えます。

昨年は、西日本豪雨災害、台風21号の被害、そして北海道胆振東部地震など日本列島各地で大規模な災害が発生いたし、多くの方々が甚大な被害を受けたわけでありませう。また地球温暖化によると考えられます猛暑が続く、埼玉県熊谷市においては観測史上最高気温となる41.1度を観測いたしました。これからの災害の発生についてはいつ何時、どこで起きても不思議でない状況下にあると思われませう。わが小野町においても被害を最小限にとどめる対策を今以上に講じておく必要があると思ひます。そのような観点から昨年は行政区長

の皆さまと防災対策というテーマを設け意見交換をさせていただきました。それぞれの考えをご提案いただき、内容によっては行政に早急に検討いただくように申し入れを行ったところでありませう。今後の災害においては町民の一人ひとりが危機感をもって対応しなければならぬ時代ではないかと考えます。

我々議員の任期も残すところあと1年を迎えたところであります。議会改革も含めて少子高齢化、人口減少対策などさらなる議論を進めていかなければならぬと感じているところでありませう。まちづくりは人づくりとよく申しますが、原点ではないかと考えるところであります。未来を託す子どもたちの支援もさらに推進していかなければなりません。

いづれにいたしても地方を取り巻く状況は厳しさを増しており、我々議会の果たす役割は重要性を増してきております。安心して安全に暮らせるまちづくり、希望の持てるまちにするために全議員一丸となつて取り組んでまいりたいと思ひております。今後ともご支援ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。



新しい年の始まりです。町民の皆さまにおかれましては、新たな年が素晴らしい年となりますようご祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

